

塩素酸塩水溶剤 クサトール FP 水溶剤	取扱メーカー： 日農，一農 原体メーカー： 保土谷
成分： 塩素酸ナトリウム〔無機系〕……………60.0%	性状： 類白色水溶性微粒 毒性： 劇物 消防法： 第1類・塩素酸塩類(第2種)・危険等級II

【品目特性】……………

- クサトールFP粒剤の項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 本剤の所定量を所要量の水に加え，金属かプラスチックの棒でよく攪拌して溶解する。
- 展着剤を加用すると効果的である。
- チガヤには効果が劣るので，再生した場合再散布する。
- 雑草の種子に効果がないので，なるべく結実前に散布し，再生したら再散布する。
- 水稻刈取り跡のマツバイ及びミズガヤツリ防除に使用する場合は次の事に注意する。

○生育期間中のマツバイ及びミズガヤツリに有効なので，マツバイ及びミズガヤツリの枯葉出現前に処理する。なお，ミズガヤツリを水稻とともに刈取るところでは，ミズガヤツリの再生後なるべく早く散布する。

○ミズガヤツリ防除に使用する場合，ミズガヤツリの塊茎形成後では効果が劣るので刈取り後が塊茎形成前になる地帯でだけ使用する。従って処理後地下茎から発生する地帯では使用をさける。

○本剤は排水良好な一毛作田で使用し，散布前に落水し，マツバイ及びミズガヤツリを露出させてから茎葉に均一に散布する。

○本剤の連年使用はさける。

- 地ごしらえ，果樹園，桑園，開こん地などの除草に使用する場合は次の事に注意する。

○散布前には雑草木の葉を刈りこまない。

○果樹園及び下刈りの場合は，果樹及び林木の葉や小枝や根元に薬液がかからぬよう風向きな

どに十分注意する。

○桑は果樹に比べ本剤に弱いので夏季の散布をさけ，養蚕の終わった晩秋に散布する。

○下刈りに使用する場合，植付当年の使用はしない。

- 使用器具，雑草の成長等の条件により，使用薬量及び希釈水量は所定の範囲内で増減して使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 散布直後に石炭又は木炭を施用すると本剤の効果が低下することがあるので注意する。

●降雨時又は降雨の予想される時の散布はさける。

●畦畔雑草防除に用いる場合，のり面の散布はさける。また，流入，飛散などによる薬害に注意する。

●本剤散布地を農耕地に利用する場合は，散布後3ヵ月以内は種又は植付けしない。

●適用外作物（各種作物，樹木）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 医薬用外劇物。取扱いは十分注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ，直ちに医師の担当を受ける。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受ける。

●眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗いし，眼科医の担当を受ける。

●散布の際は防護マスク，手袋，不浸透性防除衣などを着用する。作業後は手足，顔などを石けんでよく洗うがいをするとともに洗眼する。

●難燃性になっており，火災の危険は少ないが，使用器具は木製など可燃性のものはさけ，使用後は水洗いしてよく乾かす。

●薬剤が浸み込んで乾いた衣服や地下足袋などは着火して火傷を起こし易いので火気には注意する。作業終了後、薬剤の付着した衣類、地下足袋などをよく水で洗っておく。

●散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。

●植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入又は飛散するおそれのある場所等では使用しない。また、樹木等有用植物の根が分布していると思われるところでは使用をさける。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

●共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。

●本剤は家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので、保管に注意し、また散布直後の散布地域への家畜の放飼は行わない。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	使用目的 適用場所	適用 雑草名	使用 時期	適用 土壌	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用 方法	適用 地帯	塩素酸塩を含む農 薬の総使用回数			
					薬量	希釈水量							
開墾後に 栽培する 農作物等	開墾地	一年生雑草 多年生 広葉雑草	雑草生 育期	—	7.5～ 12.5 kg	200～ 300 ℓ	—	雑草茎 葉散布		—			
		多年生 イネ科雑草			12.5～ 15 kg								
ま つ からまつ とどまつ えぞまつ	地ごしらえ	一年生雑草 多年生 広葉雑草			7.5～ 12.5 kg						3回 以内	全域	3回以内 (全面土壌散布は 1回以内、但し当 該処理をする場合 には雑草茎葉散 布、全面均一散布、 空中散布及び株処 理は合計1回以内)
		多年生 イネ科雑草			12.5～ 15 kg								
す ぎ ひ の き	地ごしらえ 下刈り	一年生雑草 多年生 広葉雑草			7.5～ 12.5 kg	全域 (北海道 を除く)	—						
		多年生 イネ科雑草			12.5～ 15 kg								
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔				7.5～ 15 kg				100～ 200 ℓ	—			
樹 木 等	公園、堤 とう、駐 車場、道 路、運動 場、宅地、 のり面等	一年生雑草 多年生雑草			10～ 25 kg				200～ 300 ℓ	3回 以内	植栽地を 除く樹木等 の周辺地に 雑草茎葉散 布	—	3回以内 (全面土壌散布は 1回以内、但し当 該処理をする場合 には雑草茎葉散 布は1回以内)
移植水稻 直播水稻	刈取跡	マツバイ	刈取後 10日 以内	全土 壌	10～ 13 kg	80～ 100 ℓ	—	雑草茎 葉散布	全域 (北海道 を除く)	—			
		ミズガヤツリ	刈取後 ～ミズ ガヤツ リの塊 茎形成 前まで		13 kg				全域の 早期栽 培地帯				

作物名	使用目的 適用場所	適用 雑草名	使用 時期	適用 土壌	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用 方法	適用 地帯	塩素酸塩を含む農 薬の総使用回数
					薬量	希釈水量				
果 樹 類	果樹園	一年生雑草 多年生 広葉雑草	雑草 生育期	—	7.5～ 12.5 kg	200～ 300 ℓ	—	雑草茎 葉散布	全域	—
		多年生 イネ科雑草			12.5～ 15 kg					
桑	桑 園	一年生雑草 多年生 広葉雑草	雑草 生育期 (晩秋 期)		7.5～ 12.5 kg					
		多年生 イネ科雑草			12.5～ 15 kg					